

## 理事長就任の挨拶

日本デイケア学会 理事長 原 敬造

新型コロナ感染症の拡大により、日本デイケア学会長崎大会を残念なことです。が延期せざるを得ませんでした。学会を準備して下さった西脇健三郎先生をはじめとする実行委員会の皆様には、感謝申し上げます。また学会の発表を準備して下さった皆さまには、発表の機会を準備できずに申し訳なく思っています。お詫び申し上げます。

さて、このような中で、2020年度評議員会理事会を開催しました。今期は、評議員・理事の改選にあたっており、理事の互選により、私が再任され理事長を務めることになりました。今後の学会運営に際して皆さまのご協力をお願いいたします。副理事長には五十嵐良雄先生、古屋龍太先生、事務局長に飯田仁志先生が就任し新たな事務局体制を作りました。

昨年は、コロナ禍において、十分な議論が出来なかったこともあり、課題が山積しております。移動がままならない状況で、議論を重ねることの難しさを感じているところです。

デイケアは人の繋がりの中での活動であり、その繋がりを新型コロナ感染症の蔓延という状況の中で、プログラムを運営して繋がりを保ちながら展開していかなければなりません。

デイケアの役割とデイケアにより達成する目標は、集団活動による治療の提供と利用者のQOLの改善にあります。QOLの改善により“より自立した生活”を送れるようになります。

デイケア学会の行った調査で、就労プログラムを実

施しているデイケアは、実施していないデイケアと比較して就労・就学、障害福祉サービスの利用へとより多く結びついていることが分かっています。また、診療報酬では、発達障害を持つ方や薬物依存症を持つ方への専門プログラムが評価されています。このように対象と目標を明確にした取り組みを行うことにより、プログラムによるエビデンスが明確になります。プログラムの持つエビデンスを明確にすることによってデイケアの標準化を図り、デイケアに対しての批判に答えていかなければならないと考えています。

デイケアの標準化を図るには、“①デイケア利用の目的と利用者の持つ課題を明確にするには個別受け持ち制度が欠かせません。受け持ちスタッフがケースマネージャーになり、デイケア利用開始からケースマネージメントを行うことでより良い伴走が出来ます。②デイケアは多職種による集団的活動が中心の治療法なので、個別のケア会議が必須です。ケア会議を開きケースマネージャーを中心に個別計画を立て実践しモニタリングして、課題を明確化することで、より良いサービスを提供できます。③ソーシャルスキルズトレーニング、集団療法、認知行動療法などはすでに診療報酬で認められておりエビデンスが明確になっております。心理教育、家族教室、就労・就学支援プログラム、リワークなどもエビデンスを積み重ねております。こうしたプログラムをデイケアといったプラットフォームの中で取り組んでいくことでデイケア全般のエビデンスの積み重ねが出来ます。④定期的なモニ

タリングと評価を行う必要があります。評価には日本  
デイケア学会版リハビリテーション評価表、日本語版  
BPRS 等を用いて標準化する必要があります。標準  
化によりエビデンスを積み重ねることが可能になりま  
す。⑤アウトカムを明確にするにはデイケア利用の期  
限を明確にして、期限終了時点で再利用を判断する  
ことが必要と考えます。デイケアの利用が漫然となら  
ないためにも利用期間ごとの目標の設定が適切に行  
われることが必要です。⑥家族会や家族教室、アウ

トリーチ活動、外部とのケア会議などもデイケアが引  
きこもりにならないために必要な活動です。“などの視  
点が重要と考えております。

新型コロナウイルス感染症は、人々を分断し孤独と孤立を  
深めようとしています。ピンチはチャンスでもあります。コ  
ロナ禍にあって、人との繋がりを基盤にしたデイケア  
の必要性は増々高まっております。コロナ禍において、  
感染症に十分配慮したデイケア活動を作りましょう。

## 日本デイケア学会 第25回年次大会WEB大会のご案内

昨年 10 月 1 日・2 日に予定しておりました長崎大会は新型コロナウイルス感染症  
(COVID-19) の感染拡大の影響を受け、延期となりましたが、本年 11 月 28 日 (日)  
に WEB 開催とさせていただくことになりました。

大会テーマ

### 広がりをもせる多様な精神科疾患 求められる精神科デイケア ～温故知新～

大会長

西脇 健三郎 (医療法人志仁会西脇病院理事長・院長)

会期

2021年 11月 28日(日)

会場

WEB開催 (詳細は随時ホームページで公開します)

ホームページ

<http://daycare25nagasaki.org>

演題募集について

デイケアに関する演題を広く募集いたします。募集期間、募集要項に  
つきましては、大会ホームページをご参照ください。

連絡先

【日本デイケア学会事務局】

〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13

TEL: 03-3813-6368 FAX: 03-3813-6368

E-mail: info@daycare.gr.jp

---

# 調査研究委員会 委員長に就任して

日本デイケア学会調査研究委員会 委員長 五十嵐 良雄

日本におけるデイケアは長い歴史をもち、精神科医療の一翼を担い、その発展に貢献してきました。日本デイケア学会には、こうした伝統を守り、さらに発展させていくことは社会的にも重い責任が課せられていると感じています。

そういった学会の役割を果たすため、当委員会では調査と研究を行い、その結果からこれまでの成果を可視化して社会に示すことが重要であると考えます。更には、今後において改善していくべき点を見出す視点も必要であり、そのような目的でテーマを選んできました。

現在、コロナ感染が広がる中でデイケアという集団で実施しているプログラムは危機的な状況にあります。直接的なリスクとして、デイケア自体が感染の場にならない対策については当面の緊急課題ではありますが、このような状況の中でもデイケアを存続させていく意味を自覚しておく必要があります。加えて、利用者の減少の実態を確認し、デイケアの継続実施のための経済的措置を提言できる資料としても作成したいと考えます。

以上のような認識で今後の委員会活動を考えておりますので、ご協力の程、よろしくお願い致します。

(メディカルケア大手町／虎ノ門・医師)

---

## コロナ禍の中のデイケアをつなぐ —組織委員会のこれから

日本デイケア学会組織委員会 委員長 古屋 龍太

新型コロナウイルス感染症の拡大が止まりません。都道府県によって濃淡はあるものの、事態は深刻です。通所型リハビリテーションの場であるデイケアは、どこも利用者減少による経営危機に苦しんでいます。それぞれの場で、さまざまな試行錯誤が為されています。本来なら、その現場の知恵と経験を交流する場が学会なのですが、2020年度の長崎大会も延期を余儀なくされました。今はただ耐えるしかないのでしょうか。

千葉・札幌大会で連続開催してきたワークショップ「みんなで広げよう精神科デイケアネットワーク」では、つながりを求める声を多数頂きました(『デイケア実践研究』24巻1号86～92頁)。新理事会体制の構

成に当たっては、組織委員会の人数を大幅に増やし、各ブロックに窓口となる委員を配置しました。会員相互のネットワーク化が、いま急速に喫緊の課題として浮上しています。

人と人のかかわりが薄くなった今だからこそ、意図的につながる仕組みが必要になっています。今後はウェブ(SNSやZoom、メーリングリスト等)を活用した情報交流の場づくりを検討したいと考えています。それぞれのデイケアが、孤立することなくつながることのできる、デイケア学会の新しい形を創っていければと願っています。

(日本社会事業大学・PSW)



---

## 広報委員会 委員長に就任して

日本デイケア学会広報委員会 委員長 門脇 康弘

この度、広報委員会委員長に就任しました門脇と申します。

これまで学会の運営に積極的に関わってこなかった自分がこのような重責を担う事になり、身の引き締まる思いでいっぱいです。職責をまっとうできるよう、前委員長をはじめとした諸先輩方と共に精一杯やらせて頂きますのでよろしく願いいたします。

広報委員会の活動としましては、年2回のニュースレターをメイン媒体としてデイケアに関する様々な内容を広報しております。このような情勢ですが、デイケアという繋がりがあるからこそ知り合えた仲間達の頑張り、気持ち、運営状況など、時間のあるときに

ご覧いただき、すこしでも励みにしていただけたら幸いです。

みなさまにおかれましては、未曾有の災禍とはいえ、一致団結してこの難局に立ち向かわれていることと存じます。まだまだ先は見えませんが、あかるい未来のため、できる限りの事をしながら、一緒にデイケアを盛り上げていきましょう。私としましては、「より伝わる広報」を目指し、新しい形をとりいれられる事を課題とします。

みなさま、これから宜しくお願い致します。

(医療法人静和会浅井病院・作業療法士)

---

## 倫理委員会 委員長に就任して

日本デイケア学会倫理委員会 委員長 四本 かやの

北海道学会の初日ロビーで事務局に知らされた私の委員長就任。「え？倫理委員会？私が委員長なの？」と学会参加の楽しい気分そのまま時間が過ぎていきました。「研究計画の倫理審査なんて、私できないよう」と我に返って、そーっと会長にお聞きし、ようやく私なりに着地できました。

精神科医療における人権侵害が、少なくともデイケアで起こらないように、スタッフに求められる基本的倫理を示し、当学会として立場を明らかにすることと考えています。人権侵害ってえらく大袈裟な表現ですが、ヘイトスピーチやSNSの書き込みなど社会の中

でもあふれています。サービス提供者である精神科病院で起こった事件も余多あります。私たちがプロフェッショナルとして、ユーザーに選ばれるために、そして国民に日本デイケア学会は利用者一人一人の人権を大切にしていると認識してもらえるように、基本的な職業倫理をまとめていきたいと思えます。会員の方々の中で興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひご意見をお寄せください。どうぞよろしくお願い致します。

(神戸大学大学院保健学研究科・作業療法士)

## デイケア 西から東から、北から南から…

# コロナ禍にデイケアの新しい形を模索中、 よりよいデイケアをめざして！

小山 亜理沙

医療法人静和会浅井病院は千葉県のほぼ中心部に位置する東金市にあり、森林や畑に囲まれ長閑な場所にあります。九十九里町と隣接しており、海までも近い立地となっています。当院は精神科、内科、消化器内科、整形外科、歯科、脳神経外科、人間ドックがあり、精神科救急病棟、精神科亜急性期病棟、精神科療養病棟、地域移行機能強化病棟、地域包括ケア病棟、内科療養病棟で構成された447床の病院です。

当院のデイケアは1979年に開所され、現在は大規模デイケア、大規模デナイトケアの認可を受け、月曜日から金曜日までの週5日開所しています。利用者は1日平均120名ほどで、近隣の市町村から送迎バス等を利用し通所しています。

デイケアは精神科デイケア、プレリワーク、STEP (Soft Training Education Program for aged 高齢者能力維持・予防プログラム) の3つがあり、スタッフは医師(兼務)、看護師、准看護師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士等、多職種で運営しています。

プレリワークでは心の病気で休職となった方を対象に復職に向けたリハビリや再発予防のための心理教育などを行っています。STEPでは、高齢者の方々を対象とし「もの忘れ」に代表される記憶力や注意力低下への予防・能力維持を目的としたプログラムがあります。

精神科デイケアでは利用者それぞれの目的に対応できるよう運動系プログラムや作業系プログラムや創作系プログラムや料理系プログラムなど様々なプログラムを用意しています。

新型コロナウイルスが流行している中、当院では幸いウイルス感染者は見られていませんが、毎朝自宅での検温を通所時に報告してもらうこと、食事以外はマスク着用すること、食前の手洗いうがい、机を除菌シートで拭く

こと、食事は部屋を分散開放し対面しないよう机や椅子を配置し、プログラムでも常に部屋を換気、密にならないよう距離を置いて活動する、等さまざまな感染対策をしながら運営を続けています。以前は外食レクや県外まで行く外出レク等行なっていましたが、現在はテイクアウトした食事です少人数の食事会をしたり、近場で外食のない外出レクを企画するなど、制限がある中スタッフ一同模索しながら行なっています。また、感染予防対策の為に中断している利用者には電話で病状や家での様子の確認をとることや、訪問看護部門との連携を図り対応してきました。

その中で、感染予防対策でデイケア通所を中断し自宅で過ごしていた利用者には幾度か電話で状況を確認していた際、自宅で過ごす中で生活リズムが乱れてしまったり、家族以外の人と会話がなくなってしまう将来への不安を抱く利用者に対し、幾度かの電話の中で不安や心配事や困っていることを聞き、ある時デイケアで行っている感染対策を伝えた上でスタッフより「またデイケアに来てみてはどうですか?」と伝え半年ぶりに通所することになり、利用者は久しぶりに他者と話したことやプログラムに参加することで気分転換となり、今では毎回休まずに通所し生き生きと過ごしています。

コロナ禍で不安やストレスや疲れなど、みなそれぞれ感じていると思います。今後もコロナ禍経験をきっかけに新しい生活様式やウィズコロナを考え、私たちデイケアスタッフが少しでも安心できる場所を提供したり、気分転換や活動性の向上などが出来るよう、そして利用者一人一人がよりよい生活を送れるよう支援していきたいです。(医療法人静和会浅井病院リハビリテーション部精神科デイケア科・作業療法士)

---

## 日本ダイケア学会役員

**理事長**：原 敬造

**副理事長**：五十嵐良雄，古屋龍太

**理事**：相川章子，阿部幸弘，飯田仁志，池淵恵美，大嶋正浩，小田良光，  
門脇康弘，川寄弘詔，窪田 彰，齋藤敏靖，坂井一也，佐藤志津，  
鈴木実穂，関 健，高尾由美子，富澤宏輔，西浦竹彦，長谷川直実，  
肥田裕久，福智寿彦，逸見嘉之介，三家英明，横山浩之，四本かやの，  
若杉 肇，若松伸宏，渡邊文宏

**監事**：林みつ穂，松永宏子

**事務局長**：飯田仁志

**評議員**：(地区別，五十音順)

北海道・東北地区● 阿部幸弘(DR)，佐藤志津(PSW)，鈴木実穂(DR)，  
長谷川直実(DR)，原 敬造(DR)

関東地区● 相川章子(PSW)，五十嵐良雄(DR)，池淵恵美(DR)，  
門脇康弘(OT)，窪田 彰(DR)，齋藤敏靖(PSW)，  
肥田裕久(DR)，古屋龍太(PSW)，若杉 肇(CP)

中部地区● 大嶋正浩(DR)，坂井一也(OT)，福智寿彦(DR)

北陸・信越地区● 小田良光(PSW)，渡邊文宏(NS)

近畿地区● 富澤宏輔(PSW)，西浦竹彦(DR)，三家英明(DR)，  
四本かやの(OT)

中国・四国地区●

九州地区● 飯田仁志(DR)，川寄弘詔(DR)，逸見嘉之介(DR)，  
横山浩之(運動指導士)

高齢者全国区● 関 健(DR)，高尾由美子(PSW)，若松伸宏(OT)

任期：令和5年総会まで

# 日本デイケア学会入会申込みについて

日本デイケア学会は、デイケアの発展と向上を意図し、学術研究の促進と会員相互の交流の推進を目的に、平成8年に研究会として設立され、その後平成10年に学会に名称変更され、現在約1,000名の会員がおり、精神科デイケア、高齢者デイケア・デイサービスの分野で業務に従事している方が大部分を占めております。

1. 入会申込書 下記入会申込書にご記入の上、FAX か郵送で下記事務局までお送りください。

2. 入会金および年会費

正 会 員：入会金 1,000円 + 年会費 8,000円

団体会員：3名までは、入会金 5,000円 + 年会費 20,000円(登録者名の変更は適宜可能)

(3名を越えるときは、1名につき年会費 5,000円を加算してください)

振 込 先：郵便振替 名称：日本デイケア学会 口座番号：00170-8-167337

3. 資格(会則の一部を引用します)

正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

4. 事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13 広和レジデンス2F (有)エム・シー・ミュージズ内

日本デイケア学会事務局

TEL & FAX : 03-3813-6368

E-mail : info@daycare.gr.jp URL : http://www.daycare.gr.jp

----- キリトリ線 (ご記入いただき、郵送あるいは FAX で事務局までお送り下さい。) -----

## 入会申込書

申込日 令和 年 月 日

### (正会員用)

氏名		性別	男・女	生年月日	T・S H	年	月	日
----	--	----	-----	------	----------	---	---	---

職種		所属先名称 (勤務先)	
----	--	----------------	--

所属先所在地	〒	電話番号	( )
--------	---	------	-----

### (団体会員用)

団体名		代表者	
-----	--	-----	--

所在地	〒		
-----	---	--	--

種別		TEL	( )	FAX	( )
----	--	-----	-----	-----	-----

会員登録(計 名) ※会員登録される方を下記に記して下さい。

氏名	フリガナ	氏名	フリガナ
氏名	フリガナ	氏名	フリガナ